

仙台製油所高度化設備の竣工式について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)の石油精製部門である新日本石油精製株式会社(社長:大野 博)の仙台製油所(所長:小菅 章光)では、石油化学製品の増産設備と副生ガスを利用した高効率発電設備(以下、「高度化設備」という)の建設を進めてまいりましたが、このほど建設を完了し、9月20日(木)に竣工式を執り行いましたので、お知らせいたします。

当社グループは、原油から石油および石油化学製品までの一貫生産・販売体制の強化、CRI(Chemical Refinery Integration:石油精製と石油化学の一体化)を重要な戦略のひとつに掲げ、製油所設備の高付加価値化を進めております。今回の完成に伴うプロピレンやキシレンなどの増産により、石油化学品の需要がますます拡大するアジア市場に向けて石油化学事業を強力に推進し、グループとしてさらなる収益拡大を図ってまいります。

また、この高度化設備から発生する副生ガスを燃料とする高効率発電設備の設置により、製油所の自家使用電力はもちろん、発電余力を利用した電気小売(PPS)事業も展開してまいります。

以上



竣工式の様子

● 別添資料

別紙1・・・高度化設備、仙台製油所の概要(53.9KB)